

## 入札監理小委員会における審議結果報告

### 科学技術振興機構 JST セキュリティ監視運用業務

科学技術振興機構の JST セキュリティ監視運用業務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

#### 1. 事業概要及びこれまでの経緯について

本事業は公共サービス改革基本方針（平成 24 年 7 月 20 日閣議決定）別表において、新規の事業として選定されたものであり、科学技術振興機構の総合的なセキュリティ対策のため、セキュリティ機器、ネットワーク機器、接続回線のセキュリティ監視とインシデント対応及び機器の稼働監視と運用を行うものである。

#### 2. 市場化テストの実施に際して科学技術振興機構が行った取組について

市場化テストの実施にあたり、主に以下の点を変更し新規参入を促進している。

- ・単年度契約から複数年度（2ヶ年半）契約にした。
- ・引継期間の延長（約 1ヶ月→約 3ヶ月）
- ・入札説明会の実施
- ・落札方式の変更（最低価格落札方式→総合評価落札方式）

#### 3. 実施要項（案）の審議結果について

##### 【論点 1】

請負業務の引継ぎに係る経費負担が競争性の阻害になる可能性があるため、現行業者と引継業者との間に科学技術振興機構が入るなどの検討が必要である。

##### 【対応 1】

引継ぎには現行業者と引継業者との間に科学技術振興機構が入ると共に、引継ぎに必要な経費負担のあり方（発生者が自己負担）を明確にした。（資料 2-2：P9）

##### 【論点 2】

過去数年間の契約において価格変動が大きいため、業者が見積もれるよう多くの情報を開示する必要がある。

##### 【対応 2】

入札参加希望者に対し、運用報告書及び運用計画書・運用手順書については平成 26 年度下期から最新のものまで開示するようにし、どのような業務が追加されて経費が変動しているのかがわかるようにした。（資料 2-2：P56）

#### 4. 意見招請及びパブリックコメントによる対応について

平成 28 年 10 月 12 日から 11 月 2 日まで意見招請及びパブリックコメントにおいて、1 者から 3 件の意見が寄せられたが、実施要項案の趣旨を確認するものであり、当該要項案の修正には至らないものであった。